



Bridge Report メディカルネット（3645）

 平川 大 会長 CEO	会社名	株式会社メディカルネット	
	証券コード	3645	
	市場	東証マザーズ	
	業種	情報・通信	
	会長 CEO	平川 大	
	所在地	東京都渋谷区幡ヶ谷 1-34-14 宝ビル	
	事業内容	インターネットを活用した医療・生活関連情報サービスを提供。 主に、歯科医療情報ポータルサイト運営・歯科クリニック経営支援・歯科関連企業マーケティング支援など歯科医療の総合ビジネス(歯科医療プラットフォームビジネス)を展開。	
	決算月	5 月末日	
HP	https://www.medical-net.com		

— 株式情報 —

株価	発行済株式数		時価総額	ROE(実)	売買単位
669 円	5,386,500 株		3,603 百万円	5.8%	100 株
DPS(予)	配当利回り(予)	EPS(予)	PER(予)	BPS(実)	PBR(実)
2.00 円	0.3%	20.56 円	32.5 倍	287.02 円	2.3 倍

*株価 8/3 終値。発行済株式数は直近期決算短信より。ROE、BPS は前期実績。

— 業績推移 —

(単位:百万円、円)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS	DPS
2015年5月(実)	1,258	101	102	46	8.58	1.00
2016年5月(実)	1,482	176	176	186	34.54	3.00
2017年5月(実)	1,480	123	124	82	15.30	2.00
2018年5月(実)	1,740	152	154	88	16.36	2.00
2019年5月(予)	2,089	168	170	110	20.56	2.00

*予想は会社側予想。当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

株式会社メディカルネットの2018年5月期決算概要などをお伝えします。

— 目次 —

1. 会社概要
2. 2018年5月期決算概要
3. 2019年5月期業績見通し
4. 今後の成長戦略 ～予防医療・未病医療へ注力～
5. 今後の注目点

<参考:コーポレート・ガバナンスについて>

今回のポイント

・「インターネットを活用し健康と生活の質を向上させることにより笑顔を増やします。」を企業理念とし、歯科医院の経営をトータルで支援する「歯科医療プラットフォームビジネス」、歯科のみでなく医療、美容、ライフスタイルから、子育てママのサポートまで生活者にとって有益な情報を提供する「生活者向けサービス」、歯科関連企業のマーケティング支援などを行う「事業者向けサービス」を展開している。生活者・歯科医院・歯科関連企業を結ぶプラットフォームを有する唯一の企業。18年5月末で35,523名に上るメディカルネットグループ会員数が大きな資産。

・18年5月期の売上高は前期比17.5%増の17億40百万円。主要3事業とも2桁増収。営業利益は同24.0%増の1億52百万円。人員確保、広告宣伝など引き続き積極的な投資を行い販管費も増加したが増収で吸収した。営業利益率も0.4ポイント改善した。当期純利益は同7.0%増の88百万円。特別損失に和解金及び特別退職金を計上した。

・19年5月期の売上高は前期比20.0%増の20億89百万円の予想。メディア・プラットフォーム事業は、歯科分野は引き続き好調で、美容分野も回復を見込んでいる。医療機関経営支援事業は、体制を強化し新事業及び新商材の取扱に注力する。SEO対策サービス、リスティング広告運用代行ともに増収予想。医療BtoB事業は前期の様な大型広告受注が未定のため、新規コンベンション等で売上の獲得を図る。営業利益は同10.6%増の1億68百万円の予想。今期も成長のための投資を積極的に行う。既存サイトの拡充や新サイト開発などサービスの多様化を図り、業務拡大により労務費が増加するほか、営業力強化のための人件費および新サービス投入に係るマーケティングのための広告宣伝費も増加する。配当は前期と同じく2.00円/株を予定。予想配当性向は9.7%。

・今期も引き続き成長投資を行うが、2桁の増収増益予想であり、まだ利益水準は低いものの着実に足固めは進んでいるようだ。既存3事業の拡大スピードと共に、広島大学発のベンチャー企業「株式会社ミルテル」との資本・業務提携などに代表される「予防医療・未病医療」事業化の取り組みの具現化・収益化の進捗状況を注目したい。

1. 会社概要

「インターネットを活用し健康と生活の質を向上させることにより笑顔を増やします。」を企業理念とし、歯科医院の経営をトータルで支援する「歯科医療プラットフォームビジネス」、歯科のみでなく医療、美容、ライフスタイルから、子育てママのサポートまで生活者にとって有益な情報を提供する「生活者向けサービス」、歯科関連企業のマーケティング支援などを行う「事業者向けサービス」を展開している。

生活者・歯科医院・歯科関連企業を結ぶビジネスモデルを有する唯一の企業。18年5月末で35,523名に上るメディカルネットグループ会員数が大きな資産。

【1-1 沿革】

2000年	4月	前身である日本インターネットメディアセンター創業。ポータルサイト運営事業・ホームページ制作事業を開始
	9月	ポータルサイト「インプラントネット」リリース
2001年	6月	「日本メディカルネットコミュニケーションズ株式会社(現株式会社メディカルネット)設立」
2002年	2月	ポータルサイト「矯正歯科ネット」「審美歯科ネット」リリース
2005年	4月	ポータルサイト「エステ・人気ランキング」リリース
2006年	10月	SEM事業開始
2007年	9月	東証一部上場ソネット・エムスリー株式会社(現エムスリー株式会社)と業務資本提携
2009年	3月	「モバイル! 歯医者さんネット」リリース
2010年	12月	東京証券取引所 マザーズへ上場

2012年	11月	ブランネットワークス株式会社を連結子会社化、医療 BtoB 事業を展開
2014年	9月	ヘルスケア情報サイト「4healthcare」リリース
	10月	美容情報サイト「美 LAB.」リリース
2015年	1月	ママ向け子育て情報サイト「まんまみーあ」リリース
2015年	9月	株式会社ミルテルと業務資本提携
2016年	12月	「株式会社メディカルネット」に商号変更
2017年	4月	「公開育児アプリ「Moopen（モーペン）」リリース
	5月	「デンタル トリビューン インターナショナル社と業務提携
	9月	「Success Sound Co., Ltd. (現 Medical Net Thailand Co., Ltd.) を連結子会社化。タイ国バンコクにおいて、歯科医院運営を開始

歯科医にターゲットを絞り、インターネット広告を中心としたビジネスを展開しようとした企業は多数あったが、個人事業主が多数を占める歯科医に対し継続的な営業を展開することが出来ず、ほとんどの企業が撤退していった。これに対し同社は、歯科医の中でも自由診療に対象を絞り込んだうえ、ビジネスの成功のみでなく、創業時のビジョンを重視し、歯科医に対しては「新しい治療の理解と普及」や「地域医療の改善や治療に専念できる環境の提供」を、患者に対しては「より良い治療方法の情報提供」を目指し地道な努力を継続した結果、多くの歯科医師から圧倒的な共感を勝ち取り、生活者・歯科医院・歯科関連企業を結ぶビジネスモデルを有するオンリーワン企業となった。

【1-2 企業理念など】

「インターネットを活用し健康と生活の質を向上させることにより笑顔を増やします。」を企業理念とし、以下のMISSION、VISION、VALUE からなるミッションステートメントを掲げている。

MISSION 社会的存在意義	インターネットを活用し 健康と生活の質を向上させることにより 笑顔を増やします。
VISION 目指す姿	生活者・事業者革新サービスを提供し続け、歯科医療プラットフォームビジネス・領域特化型プラットフォームビジネスにおいて、国内外でトップ企業となります。
VALUE 組織的価値観	変化なくして進歩なし。(あくなき挑戦である。) <ul style="list-style-type: none"> ◇ 情熱: 向上心であり、自発性であり、責任であり、マインドである。 ◇ スピード: 意識であり、発想であり、判断であり、言動であり、行動である。 ◇ チームワーク: 協調であり、協力であり、競争であり、シナジーであり、利他である。 ◇ リスペクト: 感謝であり、思慮であり、尊敬であり、真摯さである。

同社では、全社員に理念、VISION を浸透させることを重視して、様々な取り組みを行っている。

2016年12月の社名変更も理念経営をこれまで以上に徹底して行っていくという経営からの社内外へのメッセージである。

中堅層育成のための2か月に1回の集合研修の場や中途採用時には平川会長・平川社長自らが同社の価値観を繰り返し繰り返し語りかけている。

また、各事業ユニットおよび社員各人の VISION 実現に向けた取り組みや実績を定量的・定性的に評価する仕組みもスタートさせた。

この評価制度を通じてビジョンや理念の更なる浸透を図り、より強固な組織づくりを目指している。

【1-3 市場環境】

◎歯科診療市場

厚生労働省の調査によれば、2016年度の歯科診療医療費は約2.87兆円で、前年比1.5%増と微増にとどまった。日本の健康保険財政状況からは今後も大きな伸びは予想できない。

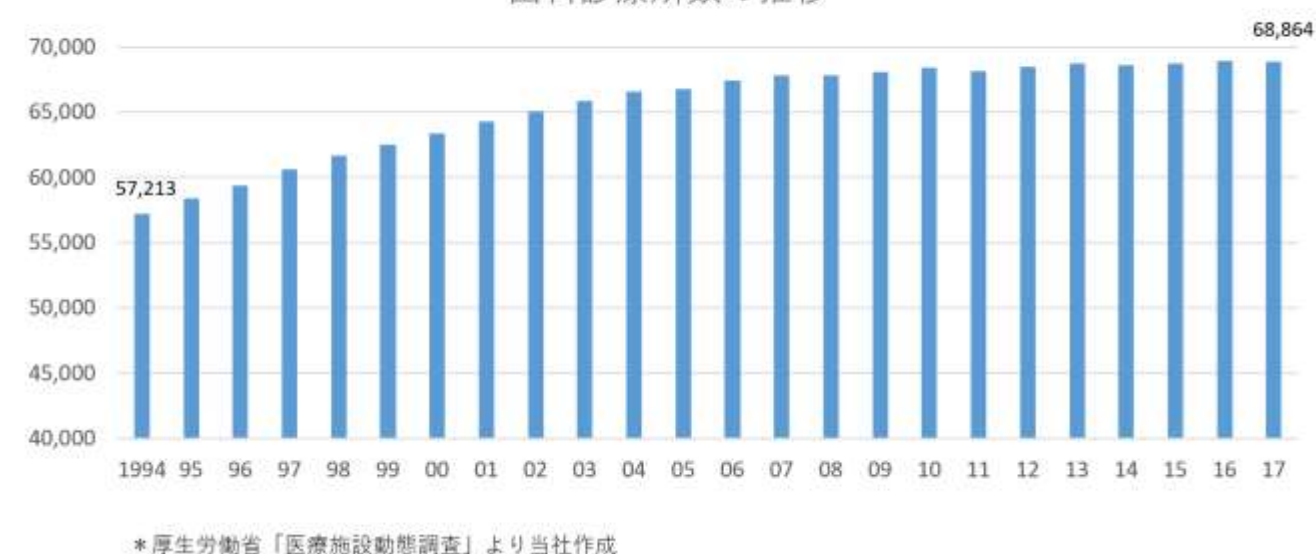
一方、歯科診療所は2018年3月末で68,756か所であった。増加ペースは低下したものの、高水準・横這いが続いている。

インプラントやホワイトニングなどの自費診療の普及や口腔衛生意識の高まりはあるものの、医療費抑制政策が続く中、歯科医院は過当競争状態にあると言われており、取り巻く経営環境は引き続き厳しい。集客増を中心とした有効な施策に対する歯科医院のニーズは極めて大きいと思われる。

歯科診療医療費の推移



歯科診療所数の推移



◎インターネット広告市場

医療機関経営支援事業における歯科医の集客のための重要なソリューションである「インターネット広告」は高成長が続いている。

電通が発表している「日本の広告 2017」によれば、金額面で多数を占めるマスコミ四媒体は地上波テレビや新聞が長期低落傾向にあることから、総広告費は2005年からの12年間で微減となっている。

一方、インターネット広告は2桁の伸びが続いており、その中でもより一層費用対効果を期待できる「リスティング広告」などいわゆる運用型広告はインターネット広告全体の半数以上を占めている。

こうした傾向は今後も続くと思われる、歯科医にとってのマーケティングツールとしてインターネット広告はますます重要なものとなるだろう。

広告費の推移



運用型広告市場の推移



【1-4 事業内容】

<サービス概要>

『インターネットを活用し健康と生活の質を向上させることにより笑顔を増やします』という企業理念の下、生活者、歯科医院、歯科関連企業に対しそれぞれ以下のようなサービスを提供している。

(生活者向け)

歯科治療の「理解」と「普及」をテーマに、自分に最適な歯科医院についての情報や、歯の基礎知識、インプラントなどの専門治療の説明など、生活者にとって有益な情報を、各種ポータルサイトを通じて提供している。また、対象は歯科のみでなく医療、美容、ライフスタイルから、子育てママのサポートと幅広い。

(歯科医院向け)

競争の激しい歯科医院業界に対し、様々な角度から経営支援サービスを提供している。送客集客に結び付くホームページ制作や Web マーケティング、歯科従事者のための求職サイト運営による人材・キャリアサポート、日々の歯科治療で必要となる消耗品や歯科材料および高度管理医療機器導入のトータルサポートに加え、歯科医院の新規開業に伴う、物件、設備・インフラ、ホームページ、集客などのトータルサポートも提供している。

(歯科関連企業向け)

歯科医院向けビジネスを拡大させたい歯科関連企業のサポートを行っている。ここで重要な役割を担っているのが、同社が運営する、歯科医療従事者登録数が2018年5月末時点で約28,067名と日本最大級である歯科医療総合情報サイト「Dentwave」である。

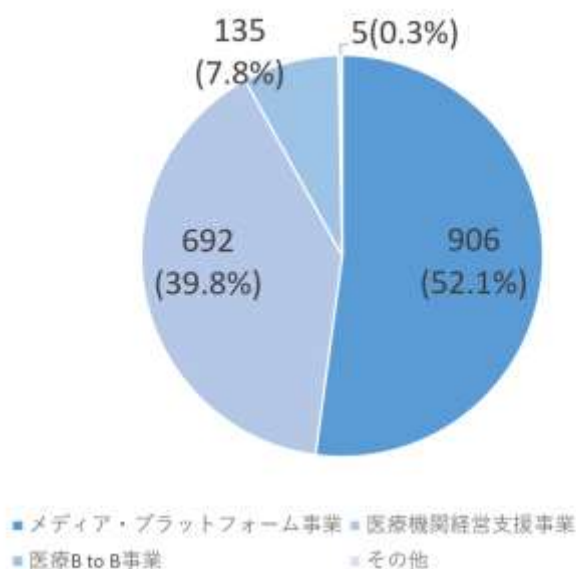
「Dentwave」におけるバナー広告やメールマガジンといった広告掲載に加え、登録者を対象としたネット調査「デントリサーチ」も、マーケティングのための有効なツールとして高い評価を受けている。スピーディに精度の高い調査が可能であることに加え、職種、専門、年代、エリアなど細かいスクリーニングにも柔軟に対応しており、多くの歯科関連企業が導入している。

ほかにも、学会や企業のWebサイトやランディングページおよびカタログなどの制作、歯科コンベンションや歯科イベントの企画・集客・運営支援も行っている。

<報告セグメント>

開示上の報告セグメントは、「メディア・プラットフォーム事業」、「医療機関経営支援事業」、「医療 BtoB 事業」の3つ。

セグメント別売上構成（18年5月期）



*単位：百万円。外部顧客への売上高。

(1) メディア・プラットフォーム事業

「からだ」・「健康」・「美」に特化した情報を提供するサイトの開発・運営を行っている。

様々な切り口で、歯科分野、美容・エステ分野、子育て分野合わせて、125のメディアを運営している。

(歯科分野)

インプラントネット	歯科インプラント治療という特定の自由診療に関する情報発信に特化したポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> ● インプラントネット(全国版) ● 東京版・インプラントネット ● 東京地域版・インプラントネット(10地域) ● 大阪版・インプラントネット ● 大阪地域版・インプラントネット(3地域) ● 福岡版・インプラントネット ● Dental Implants Net(US 全国版・US 地域版2地域) ● インプラントネット(モバイル版) ● インプラントネット(スマートフォン版)
-----------	--	--

矯正歯科ネット	矯正歯科治療という特定の自由診療に関する情報発信に特化したポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> ● 矯正歯科ネット(全国版) ● 東京版・矯正歯科ネット ● 東京地域版・矯正歯科ネット(10地域) ● 大阪版・矯正歯科ネット ● 大阪地域版・矯正歯科ネット(3地域) ● 福岡版・矯正歯科ネット ● 矯正歯科ネット(モバイル版) ● 矯正歯科ネット(スマートフォン版)
審美歯科ネット	審美治療という特定の自由診療に関する情報発信に特化したポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> ● 審美歯科ネット(全国版) ● 東京版・審美歯科ネット ● 東京地域版・審美歯科ネット(10地域) ● 大阪版・審美歯科ネット ● 大阪地域版・審美歯科ネット(3地域) ● 福岡版・審美歯科ネット ● 千葉版・審美歯科ネット ● 埼玉版・審美歯科ネット ● 神奈川版・審美歯科ネット ● 名古屋版・審美歯科ネット ● 審美歯科ネット(モバイル版) ● 審美歯科ネット(スマートフォン版)
その他歯科関連	「歯医者さんネット」	主に虫歯治療、歯周病治療などの保険診療を行う歯科医院を紹介し、幅広い顧客層をターゲットにしたポータルサイト
	「Ask Dentist」	「インターネットユーザーからの歯や口腔に関する質問・相談に歯科医師が回答する歯科 Q&A サイト」
	歯科求人サイト「Denty」	歯科医療業界に特化した求人サイト。歯科ポータルサイトの運営実績を活かして、求職者の目線を意識した求人情報の発信に努めている。

主なポータルサイトは歯科医院検索、歯科医院紹介、歯科医師の紹介に加え、患者に対する情報提供として、治療説明、よくある質問と回答の Q&A といったコンテンツも掲載している。

(美容・エステ分野)

エステ関連サイト	美意識の高い女性をターゲットに、エステに関する情報を提供するポータルサイト「エステ・人気ランキング」をはじめ9サイトを運営している。
美容整形関連サイト	美意識の高い女性をターゲットに、美容整形に関する情報を提供するポータルサイト「気になる！美容整形・総合ランキング」をはじめ3サイトを運営している。
美 Lab.(ビラボ)	アラサー・アラフォー女性のカラダづくりを応援する美容メディア。ヨガのインストラクターや管理栄養士など「美 LAB.公式アンバサダー」による専門情報を幅広く発信している。

主なコンテンツは、エステサロン検索、エステサロン紹介、総合人気ランキング、キャンペーン人気ランキング、コース人気ランキング、実際にエステサロンで受けた施術の感想等を掲載した体験レポートなど。

(子育て分野)

妊娠時から6歳児までの子供を持つママ」をターゲットとしたママ向け子育て情報サイト「まんまみーあ」を運営しているほか、プレママから3歳児の赤ちゃんを育てるママ向けコミュニティアプリ「Moopen(モーペン)」を前期にリリースした。

*ビジネスモデル

各ポータルサイトは、歯科医院やエステサロン等を顧客として、広告料収入を得て運営している。

インターネットユーザーは、各ポータルサイトにおいて、無料で歯科医院、エステサロン等の情報を検索・閲覧することができる。

広告料収入の具体的内容は、主に①クライアント紹介ページの初期制作料及び月額掲載料、②クライアントのホームページへのリンクを貼ったバナー広告の月額掲載料となっている。

契約形態は原則12カ月の継続契約(自動更新)であるため、収益モデルは積上げ式のストックビジネスとなっている。

(2)医療機関経営支援事業

①SEM事業

検索エンジンの検索結果において検索順位を上位表示させることを目的としたSEO(検索エンジン最適化)サービスや、ヤフー株式会社及びGoogle Inc.が運営するポータルサイトにおけるリスティング広告(検索連動広告)の運用代行サービスを提供している。

① SEO

検索エンジンを活用してホームページへの集客やホームページから情報配信を行うクライアントに対して、検索エンジンの表示順位判定基準(アルゴリズム)を分析し、ホームページの状態を最適化することにより、ホームページの検索エンジンからのキーワードに対する評価を高め、検索エンジンの検索結果において検索順位を上位表示させることを目的としたSEOサービスを提供している。

定額料金により複数のキーワードでYahoo! JAPAN 又は Google の検索結果を上位表示させる月次定額型サービスと、特定のキーワードでYahoo! JAPAN 又は Google の検索結果の順位に応じた料金が発生する成功報酬型サービスがある。

② リスティング広告(検索連動広告)

ヤフー株式会社及びGoogle Inc.が運営するポータルサイトにおいてリスティング広告(検索連動広告)の運用代行サービスを行っている。

「リスティング広告」とは、検索エンジンの検索結果ページに設定された広告枠に表示される広告のことで、インターネットユーザーが広告をクリックした場合にのみ広告主に広告料が発生する。

クライアントにとって費用対効果の高い広告運用を実現するため、キーワードや広告原稿の提案から、運用面における入札価格の調整や予算管理までの総合的なサービスを提供している。

②事業者向けホームページ制作・メンテナンス事業

主に「からだ」「健康」「美」に関連する事業者(歯科医院、エステサロン等)をクライアントとしてホームページ制作・メンテナンス事業を行っている。

インターネットユーザーが、その歯科医院やエステサロン等に対して安心感を持ってもらえるように「清潔感・高級感」を重視したウェブデザインを手掛けるほか、歯科分野及び美容・エステ分野に特化している同社ならではの医療・美容知識を活かして、患者や医療・美容に対するクライアントの考え方など、インターネットユーザーに情報を分かりやすく伝えることができるホームページを制作している。

また、人工知能(AI)機能を搭載したWeb 接客支援システムの提供も開始した。これは歯科業界初の取り組みである。

③販売代理事業

クライアントを中心に、新聞折込広告をはじめとする広告出稿、他社商材等の販売代理業務を行っている。

④海外での歯科医院経営

タイ・バンコクで歯科医院の経営を開始。タイでの歯科医院経営を皮切りに、海外諸国において日本の先進歯科医療の普及を図る。

以上の4事業の他に、前期中よりタイで子会社 Medical Net Thailand Co., Ltd.により歯科医院を運営している。

(3)医療 BtoB 事業

歯科医療従事者と歯科関連企業等をつなぐ BtoB 型の歯科医療総合情報サイト「Dentwave」の運営を行っている。

同サイトの歯科医療従事者登録は2018年5月末時点で約28,067名と日本最大級。

この会員を基盤として、歯科関連企業等に対する広告ソリューション、リサーチ、コンベンション運営受託等のサービスを提供している。

また、世界最大規模の歯科メディアであるデンタルトリビューンインターナショナルと業務提携し、世界65万人の歯科医師をユーザーにもつ「DENTAL TRIBUNE」日本版のメディアの運営とマガジンの発行をしている。

【1-5 特長と強み】

(1)生活者・歯科医院・歯科関連企業を結ぶプラットフォームを構築している唯一の企業



(同社 HP より)

同社は、歯科医療を中心に生活者・歯科医院・歯科関連企業を結んだプラットフォームを構築しているが、こうしたプラットフォームを構築している企業は他には無く、同社の大きな特徴となっている。

この強固でユニークなプラットフォームを活かし、生活者・歯科医院・歯科関連企業、それぞれに向けて様々なサービスを提供しており、これが強力な競合優位性となっている。

創業から約20年をかけて構築してきたポジショニングは強固であり、新規参入は極めて難しいと同社では考えている。

◎对生活者:自社メディアで信頼性の高い公平・中立な情報を提供

歯科医師など専門家と直接やりとりしながら、多くのメディアを構築・運営してきた同社は、歯科医療における豊富な専門知識を有している。

そのため、生活者に対し信頼性が高くかつ分かりやすい情報を提供することが可能であり、そのクオリティの高さは、医師が患者に説明する際に、同社が運営するWebサイトのコンテンツを利用することもあるほどである。

より専門性の高いテーマについては、長年築き上げた信頼関係に基づき、歯科医師に執筆を依頼している。

様々な見解があるテーマについては、複数の歯科医師に意見を述べてもらったり、治療方法のデメリットなどについても言及してもらったりしており、生活者に公平・中立な情報を提供している。

同社の売上高の多くは歯科医向けサービスによるものではあるが、ビジョンや理念の下、常に「生活者・利用者の視点」を重視したアドバイスを歯科医に提供しており、これが同社に対する一層の信頼性向上に結び付いている。

◎対歯科医:ワンストップ Web サービス×多彩なリアルサービス×コンサルティング

さまざまな自社メディア、および事業者向けWebサイトを構築してきた同社は、Webサイト構築からSEM施策の立案・

実施までをワンストップで提供することが可能であり、これに加え、人材紹介、保険、専門機材、オフィスサプライなど、リアルな領域においても全方位的なサービスを提案している。

さらに、歯科医師の専門領域や課題を理解した上で、経営実態を把握・分析し、インターネットを活用した効果的な顧客・集客や、リアルビジネスを組み合わせた人員・設備・事業計画の提案など、歯科医院に対する経営支援コンサルティングを幅広く提供することができる。

◎対歯科関連企業：優良歯科医院へのアプローチやマーケットリサーチが可能

前述のように、同社は、会員数トップクラスの歯科医療従事者向けサイト「Dentwave」を運営している。

会員の多くは、経営状態が良好でかつ事業拡大にも前向きであり、医療機器メーカー・卸などメーカー・サプライヤーは、こうした優良顧客に対して広告展開や、製品・サービスの提案をすることが可能である。

(2) スtockビジネスによる安定した収益構造

同社売上の過半を占めるポータルサイト運営事業における広告出稿は、原則として12カ月の継続契約(自動更新)であるため、収益モデルは積上げ式のストックビジネスであり、同社の収益基盤に安定性をもたらしている。

同社では新規顧客開拓を進めて事業基盤の更なる強化を図る考えだ。

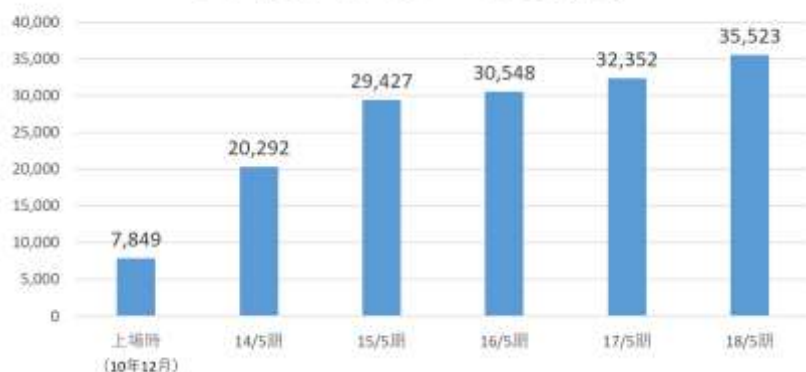
(3) 圧倒的な会員数

歯科医療従事者会員からなるメディカルネットグループ会員数は18年5月末で35,523名と、上場時の4.5倍にまで拡大している。

この会員は、対歯科医院向けビジネスの顧客であると同時に、対歯科関連企業向けビジネスにおいても重要な資産として同社の事業基盤を支えている。

日本全国には約10万人の歯科医師がいると同社では想定しており、今後は8割、8万人の会員化を目指している。

メディカルネットグループ会員数推移



【1-6 ROE 分析】

	12/5期	13/5期	14/5期	15/5期	16/5期	17/5期	18/5期
ROE(%)	6.6	5.7	5.7	3.8	14.0	5.6	5.8
売上高当期純利益率(%)	6.59	5.44	5.22	3.67	12.55	5.56	5.06
総資産回転率(回)	0.81	0.79	0.80	0.74	0.87	0.86	0.95
レバレッジ(倍)	1.24	1.34	1.37	1.40	1.29	1.18	1.20

ROEは16/5期を除けば、日本企業が一般的に目指すべきと言われている8%を下回っている。

売上高当期純利益率の改善が期待される。

2. 2018年5月期決算概要

(1)業績概要

(単位:百万円)

	17/5月期	構成比	18/5月期	構成比	対前期比	対計画比
売上高	1,480	100.0%	1,740	100.0%	+17.5%	-2.2%
売上総利益	757	51.1%	888	51.0%	+17.3%	-
販管費	634	42.8%	735	42.2%	+15.9%	-
営業利益	123	8.3%	152	8.7%	+24.0%	+22.1%
経常利益	124	8.4%	154	8.9%	+24.1%	+20.4%
当期純利益	82	5.5%	88	5.1%	+7.0%	+3.1%

* 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

増収増益

売上高は前期比 17.5%増の 17 億 40 百万円。主要 3 事業とも 2 桁増収。

営業利益は同 24.0%増の 1 億 52 百万円。人員確保、広告宣伝など引き続き積極的な投資を行い販管費も増加したが増収で吸収した。営業利益率も 0.4 ポイント改善した。

当期純利益は同 7.0%増の 88 百万円。特別損失に和解金及び特別退職金を計上した。

(2)セグメント別動向

(単位:百万円)

	17/5月期	構成比	18/5月期	構成比	対前期比
メディア・プラットフォーム事業	789	53.3%	922	53.0%	+16.8%
医療機関経営支援事業	553	37.4%	705	40.6%	+27.6%
医療 BtoB 事業	130	8.8%	162	9.4%	+24.6%
その他	10	0.7%	5	0.3%	-45.5%
調整額	-2	-0.2%	-56	-3.2%	-
売上合計	1,480	100.0%	1,740	100.0%	+17.5%
メディア・プラットフォーム事業	442	56.0%	550	59.7%	+24.6%
医療機関経営支援事業	20	3.7%	-17	-2.5%	-
医療 BtoB 事業	-6	-	-20	-	-
その他	-6	-	3	-	-
調整額	-325	-	-36	-	-
営業利益合計	123	8.3%	152	8.8%	+24.0%

* 営業利益の構成比は売上高営業利益率。その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントで管理業務受託事業。

◎メディア・プラットフォーム事業

増収増益。

歯科は前期比 17.4%増収。既存サービスブラッシュアップの効果などにより、受注が好調に推移。計画に対しても上回った。

美容は、同 18.7%増収。上期後半の大型受注の積み上げにより、前年・計画共に大幅に上回った。

子育ては同 31.3%減収。計画も下回ったが、月間訪問者数やサイト PV は順調に伸びている。

◎医療機関経営支援事業

大幅増収も損失へ。

HP 制作については、他社との差別化の為の機能拡張(AI 機能搭載)を行い更なる販売強化に取り組んだ。SEM に関しても計画を上回った。販売代理も好調。

タイにおいて新たに連結子会社化した Medical Net Thailand Co., Ltd.が歯科医院経営を開始した。

◎医療 B to B 事業

増収、損失幅拡大。

売上高は大型コンベンションの受託などにより前年を大きく上回る。広告事業は計画を上回ったが、その他の事業が計画を下回った。

(3)財務状態とキャッシュ・フロー

◎主要BS

(単位:百万円)

	17年5月末	18年5月末		17年5月末	18年5月末
流動資産	1,583	1,650	流動負債	256	332
現預金	1,248	1,273	仕入債務	28	32
売上債権	233	298	負債合計	256	332
固定資産	188	234	純資産	1,515	1,552
有形固定資産	11	35	利益剰余金	946	1,023
無形固定資産	60	64	負債純資産合計	1,771	1,884
投資その他の資産	116	135			
資産合計	1,771	1,884			

売掛金の増加で流動資産は前期末比 67 百万円増加。有形固定資産の増加で固定資産は同 46 百万円増加。資産合計は同 1 億 13 百万円増加の 18 億 84 百万円となった。

負債合計は同 76 百万円増加の 3 億 32 百万円。

利益剰余金の増加で純資産は同 37 百万円増加の 15 億 52 百万円。

自己資本比率は前期末より 2.4%低下し 82.0%となった。

◎キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	17年5月期	18年5月期	増減
営業CF	73	116	+43
投資CF	-68	-42	+26
フリーCF	4	73	+69
財務CF	-16	-49	-33
現金同等物残高	1,147	1,172	+24

フリーCFのプラス幅は拡大。キャッシュポジションも上昇した。

(4)トピックス

◎広島大学発のベンチャー企業「株式会社ミルテル」と資本・業務提携

2018年6月、広島大学発のベンチャー企業で、生活習慣を改善するきっかけを作る「未病検査」と「疾患の早期発見」を組み合わせたミルテル検査業務を行っている株式会社ミルテルと資本業務提携を実施した。

(株式会社ミルテル概要)

株式会社ミルテルは、2012年創業の広島大学発のベンチャー企業。

2013年9月にミルテル検査センターを開設し、生活習慣を改善するきっかけを作る「未病検査」と「疾患の早期発見」を組み合わせたミルテル検査業務を行っている。

ミルテル検査とは、病気発症前の未病状態を検知できる「テロメアテスト」と、疾患が発症したときにいち早く病気を早期発見することを目的とした「ミアテスト」から構成される。

テロメアテストは、染色体の最末端部分のテロメア 1 本鎖 DNA 配列(Gテール)の長さを測定することにより、生活習慣を改善するきっかけを作る疾患予防に焦点を当てた未病検知検査。

持って生まれた「遺伝子の強さ」の測定による疾患のリスク検査と、環境因子の暴露による遺伝子に対するストレスである「遺伝子の疲労」を測定し、より良い生活習慣の改善により健康長寿を積極的にを行うことを目的としている。一方、「ミアテスト」は、各疾患で特徴的に変化する疾患特異的な因子(マイクロRNA)を検出し、疾患の超早期発見を行う世界的に注目されている検査。血液のみの検査のため患者の負担が少ないという利点があり、超早期発見することで、多くの疾患の治癒率を大幅にあげるとともに医療費の大幅な削減と健康長寿の達成が期待されている。

(アライアンスの目的・背景)

(株)ミルテルが血液での検査のみならず、口腔領域における唾液や口腔粘膜などの臨床検体等を利用した未病・疾患早期発見を目的とした検査等の研究・開発を進めるに当たり、歯科領域で強みを持つメディカルネットと提携することで両者のノウハウを有効活用し、事業拡大および企業価値の更なる向上を図る。

(資本提携の内容)

株式会社ミルテルが実施した第三者割増資により、株式会社ミルテルが発行したB種種類株式 4,500 株(引受金額の総額 31,500 千円)を引き受けた。

保有株数は既に保有しているA2 種種類株式 9,523 株と合わせて 14,023 株となる。

なお、今回の株式取得後においても(株)ミルテルは持分法の適用範囲外である。

(業務提携の内容)

メディカルネットとミルテルは口腔領域における唾液や口腔粘膜などの臨床検体等を利用した未病・疾患早期発見を目的とした検査等の歯科領域における事業を企画・開発し、メディカルネットが独占的に販売する。

また、同検査等について、メディカルネット、ミルテル及び広島大学が共同研究開発を行う。

3. 2019年5月期業績予想

(1)通期業績予想

(単位: 百万円)

	18/5 月期	構成比	19/5 月期(予)	構成比	前期比
売上高	1,740	100.0%	2,089	100.0%	+20.0%
営業利益	152	8.7%	168	8.0%	+10.6%
経常利益	154	8.9%	170	8.1%	+10.1%
当期純利益	88	5.1%	110	5.3%	+25.7%

* 予想は会社側発表。

2 桁の増収増益

売上高は前期比 20.0%増の 20 億 89 百万円の予想。

メディア・プラットフォーム事業は、歯科分野は引き続き好調で、美容分野も回復を見込んでいる。

医療機関経営支援事業は、体制を強化し新事業及び新商材の取扱に注力する。SEO 対策サービス、リスティング広告運用代行ともに増収予想。

医療 BtoB 事業は前期の様な大型広告受注が未定のため、新規コンベンション等で売上の獲得を図る。

営業利益は同 10.6%増の 1 億 68 百万円の予想。

今期も成長のための投資を積極的に行う。既存サイトの拡充や新サイト開発などサービスの多様化を図り、業務拡大により労務費が増加するほか、営業力強化のための人件費および新サービス投入に係るマーケティングのための広告宣伝費も増加する。

配当は前期と同じく 2.00 円/株を予定。予想配当性向は 9.7%。

(投資について)

人的投資は前期に続き新卒採用を実施し、今期は6名の採用を決定している。また、既存事業で33名の採用を計画しており、予算は前期比29%増を見込んでいる。

事業投資では、「新規事業」、「医療 BtoB 事業の推進」、「デンタルトリビューンジャパンの運営」、「歯科事業の海外展開」が主要投資項目となる、

(2) 事業別の取り組み

事業	取り組み
メディア・プラットフォーム (歯科・美容)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 人材強化 ◇ サービス拡充・改善 ◇ セールスとのサービス販売強化 ◇ 専門コンテンツ強化
メディア・プラットフォーム (ママ向け)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 利用者の獲得と収益モデル構築 ◇ 動画などの新たなコンテンツへの取り組み ◇ コミュニティアプリにおけるユーザー体験・付加価値構築
医療機関経営支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新規チャネル開拓と収益モデル構築 ◇ AI搭載およびユーザーコミュニケーション型 Web の開発と販売 ◇ セミナー、大学及びスタディグループの開業支援及び経営支援案件の掘り起こし
医療 BtoB	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 会員数増加に向けた施策強化 ◇ デンタルトリビューン事業とのシナジー効果追求
ビジネスディベロップメント・ 経営企画	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新規事業

4. 今後の成長戦略 ～予防医療・未病医療へ注力～

今後の更なる成長を目指す同社では「予防医療・未病医療」が重要なキーワードであると考えており、以下のような成長戦略を打ち出している。

同社がオンリーワン企業としてポジショニングを構築している歯科業界において大きな環境変化が起きている。

日本では歯科治療というとこれまでは虫歯治療が中心であった。

一方欧米では虫歯治療だけではなく、歯周病が動脈硬化、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、アルツハイマーなど様々な疾病の原因の一つであり、歯の健康を保つことがこれらの疾病予防につながるという考え方が中心となっている。

このような、全身の健康・長寿つながる「予防歯科・未病歯科」という考え方が今後日本でも重視されるといわれている。

同社では、「予防歯科・未病歯科」について、積極的な啓蒙活動を行い企業の公的使命としてその普及に取り組んでいくほか、ビジネスにおいても大きなチャンスであると考えている。

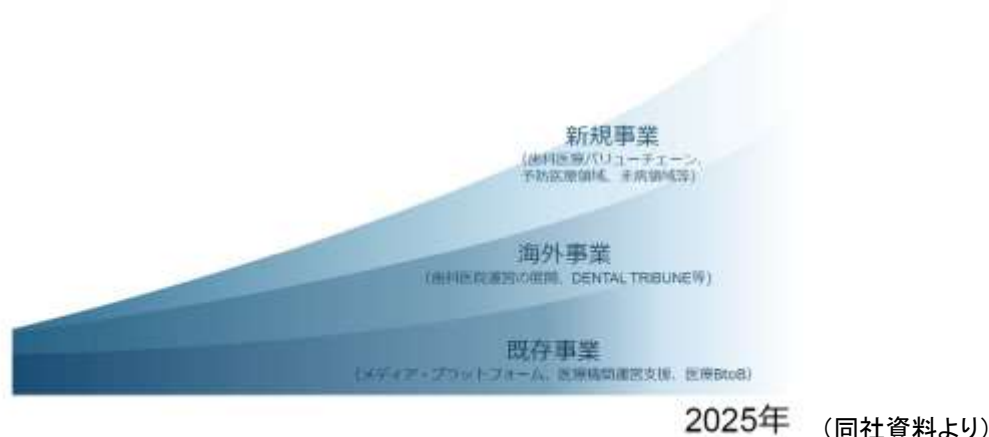
現在の中心的な事業分野である自由診療においては、インプラント手術など多くは患者が一生に一度施術を受けるものであるためスケールメリットを生み出しにくいという課題があったが、「予防」は定期的な受診が必要であることから市場規模はけた違いに大きいと推定される。

また、生活者に対する一般的な情報提供のみではなく、個人の属人的状況に応じて「予防・未病アラート」を発するプラットフォームの提供による個人課金や、歯科を入り口とした他医科への送客など、新たなマネタイズ方法も想定できる。

このように、「予防医療・未病医療」へのシフトは患者、歯科医、歯科関連企業の全てに大きな影響を与えることは確実で、そこに大きな成長市場が登場すると同社では見ており、独自のビジネスモデルを発展させ、M&Aも活用して需要を取り込み大きな成長を遂げようと考えている。

既存のストックビジネスに歯科医院運営や DENTAL TRIBUNE の活用などの「海外事業」と予防医療・未病医療など「新規事業」を積み上げるとともに、成長を加速させるブランディング創りにも取り組み、2025年5月期売上高100億円を目指している。

～2025年5月期売上高100億円に向けて～



5. 今後の注目点

今期も引き続き成長投資を行うが、2桁の増収増益予想であり、まだ利益水準は低いものの着実に足固めは進んでいるようだ。

既存3事業の拡大スピードと共に、広島大学発のベンチャー企業「株式会社ミルテル」との資本・業務提携などに代表される「予防医療・未病医療」事業化の取り組みの具現化・収益化の進捗状況を注目したい。

<参考:コーポレート・ガバナンスについて>

◎組織形態、取締役、監査役の構成

組織形態	監査役会設置会社
取締役	6名、うち社外1名
監査役	3名、うち社外2名

◎コーポレート・ガバナンス報告書

最終更新日:2017年9月1日

<基本的な考え方>

当社は、株主・クライアント・消費者・従業員・地域の方々等すべてのステークホルダーに対して、経営の健全性・効率性・透明性を通じて企業としての社会的責任を果たしていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。

その実現のために、現状に満足することなく経営環境の変化に応じてコーポレート・ガバナンス体制を強化し、企業価値の最大化を図っていきます。

<実施しない主な原則とその理由>

「当社は、コーポレートガバナンス・コードの基本原則を全て実施しております。」と記述している。

BRIDGE REPORT

ブリッジレポート



本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。また、本レポートに記載されている情報及び見解は当社が公表されたデータに基づいて作成したものです。本レポートに掲載された情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。当該情報や見解の正確性、完全性もしくは妥当性についても保証するものではなく、また責任を負うものではありません。本レポートに関する一切の権利は(株)インベストメントブリッジにあり、本レポートの内容等につきましては今後予告無く変更される場合があります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。

Copyright(C) 2018 Investment Bridge Co., Ltd. All Rights Reserved.